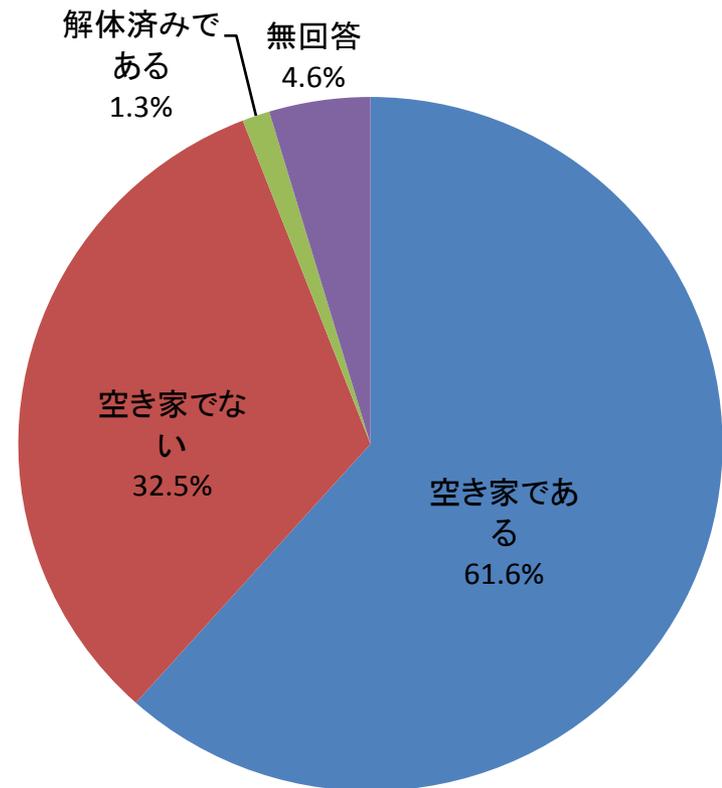


# 1. 「3ヶ月以上空き家」となっているかどうか

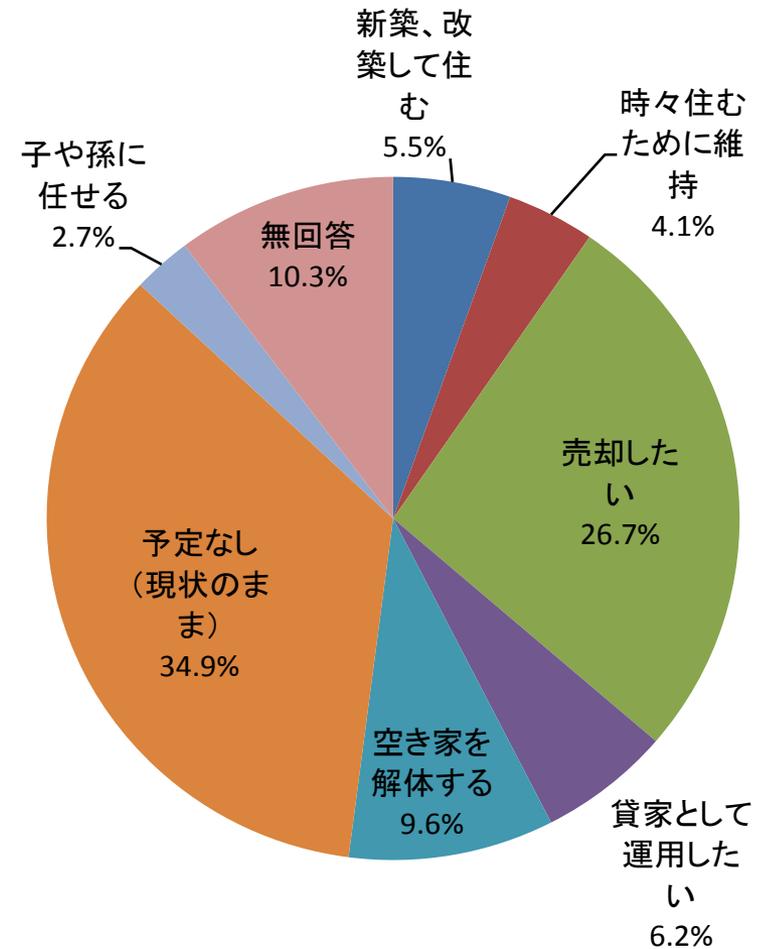
項目	件数	比率
空き家である	146	61.6%
空き家でない	77	32.5%
解体済みである	3	1.3%
無回答	11	4.6%
合計	237	100.0%



※1 空き家:「常時、人が住んでいない住宅」で賃貸・売却用の空き家、長期不在などの空き家

## 2.空き家の活用意向

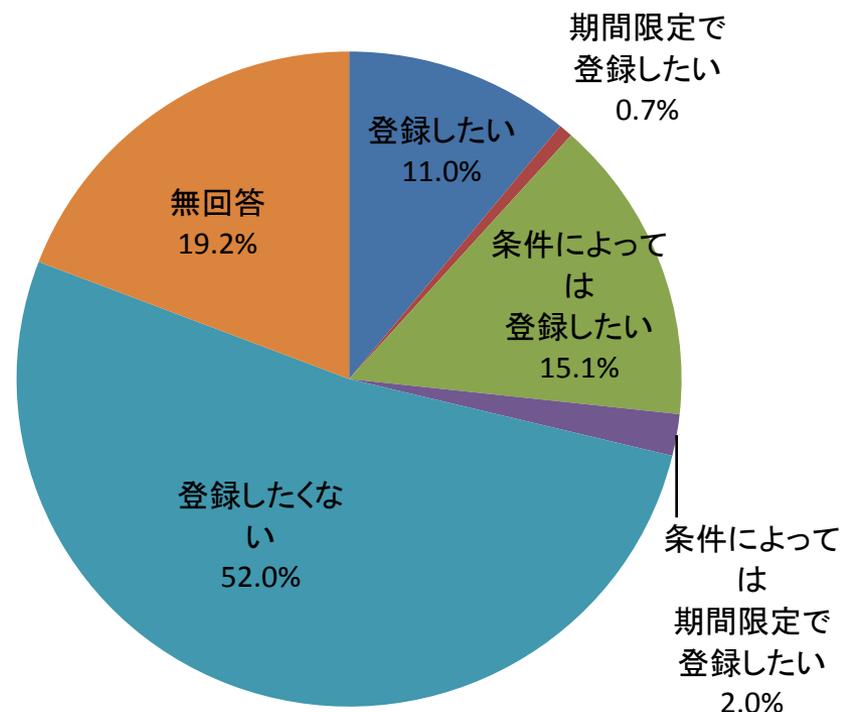
項目	件数	比率
新築、改築して自分または家族が住む	8	5.5%
別荘・セカンドハウスとして時々住むために維持する	6	4.1%
売却したい	39	26.7%
貸家として運用したい	9	6.2%
空き家を解体する(更地、駐車場等利用)	14	9.6%
予定なし(現状のまま)	51	34.9%
子や孫に任せる(相続する)	4	2.7%
無回答	15	10.3%
合計	146	100.0%



※2 「空き家である」と回答のあった146件について集計。

### 3. 「空き家バンク登録制度」の活用意向

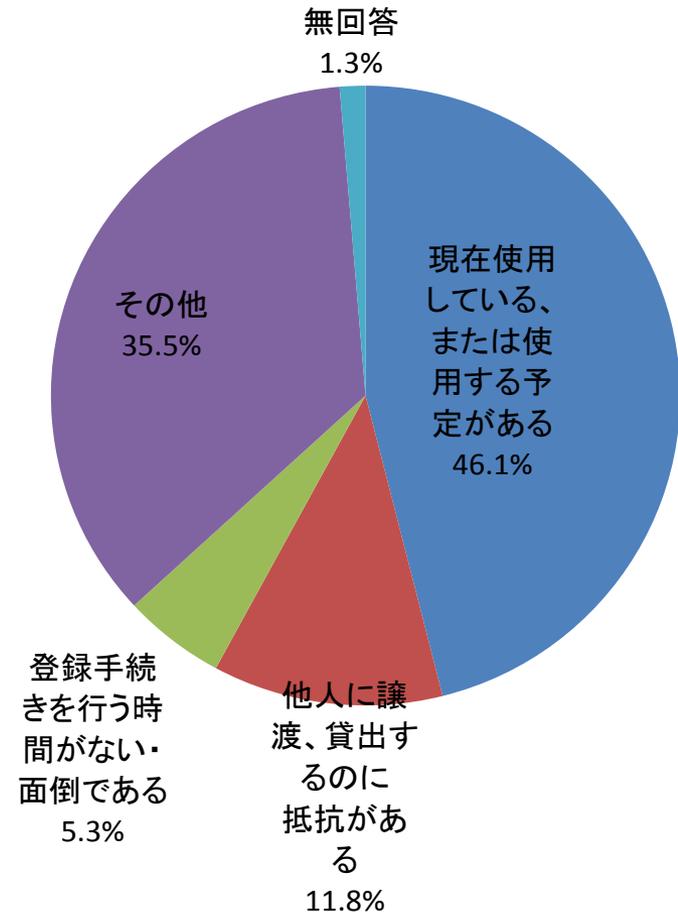
項目	件数	比率
登録したい	16	11.0%
期間限定で登録したい	1	0.7%
条件によっては登録したい	22	15.1%
条件によっては期間限定で登録したい	3	2.0%
登録したくない	76	52.0%
無回答	28	19.2%
合計	146	100.0%



※3 空き家バンク登録制度: 空き家の賃貸、売却を希望する所有者から物件の提供を求め「空き家バンク」に登録し、物件情報を希望する方に市のホームページ等で情報提供し、貸家、売却等の住み替え支援を行うもの

## 4. 「空き家バンク」に登録したくない理由

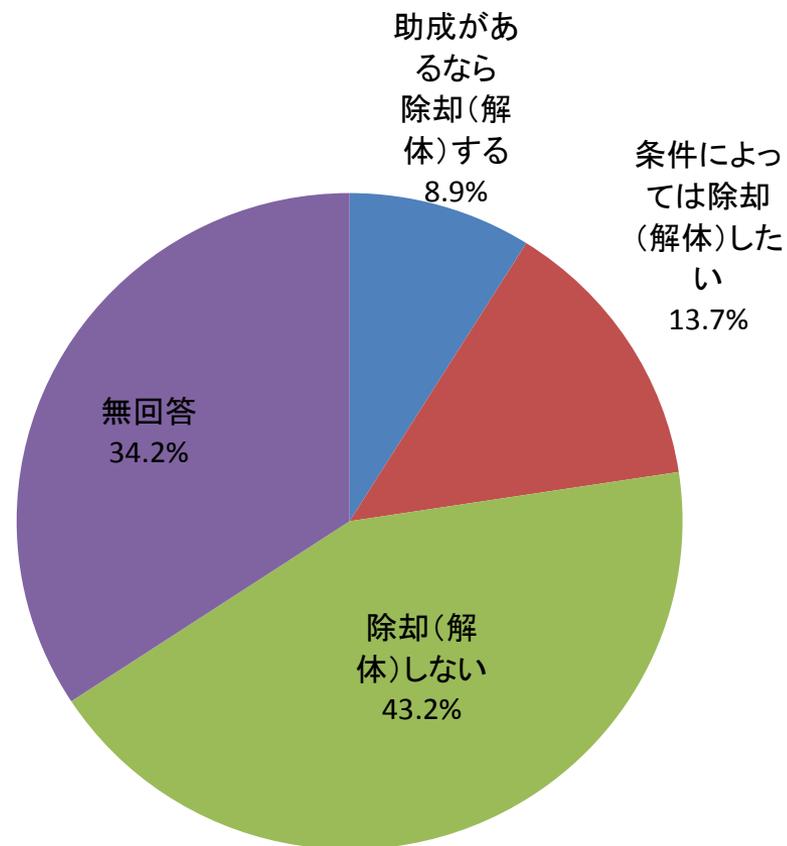
項目	件数	比率
現在使用している または使用する予定がある	35	46.1%
他人に譲渡、貸出するのに 抵抗がある	9	11.8%
登録手続きを行う時間がない 面倒である	4	5.3%
その他	27	35.5%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%



※4 その他の回答例:「解体する」、「老朽化しているため登録する価値はない」、「業者にすでに依頼中である」など。

## 5. 「老朽危険空き家除却（解体）の取組み」の活用意向

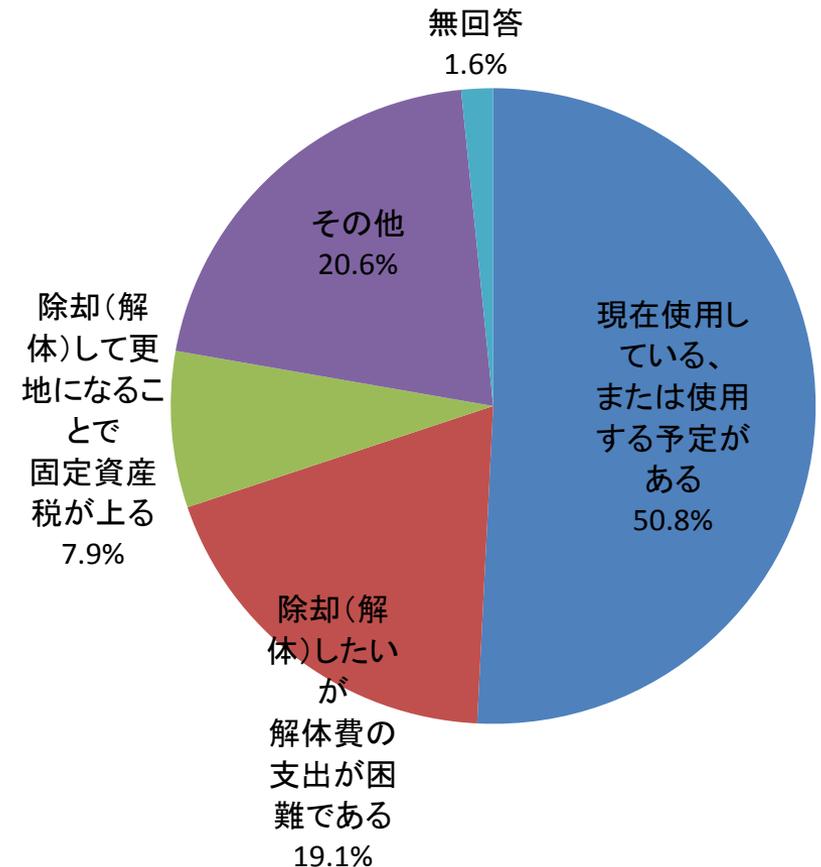
項目	件数	比率
助成があるなら 除却(解体)する	13	8.9%
条件によっては 除却(解体)したい	20	13.7%
除却(解体)しない	63	43.2%
無回答	50	34.2%
合計	146	100.0%



※5 老朽危険空き家除却(解体)の取組み:老朽化により倒壊の可能性がある危険な空き家に対して、土地の寄付や解体後一定期間は公園として利用するなどの条件を基に、除却費の助成を行うもの。

## 6.除却（解体）しない理由

項目	件数	比率
現在使用している または使用する予定がある	32	50.8%
除却(解体)したいが 解体費の支出が困難である	12	19.1%
除却(解体)して更地になること で、固定資産税が上がる	5	7.9%
その他	13	20.6%
無回答	1	1.6%
合計	63	100.0%



※6 その他の回答例:「今すぐ解体する必要がない」、「生存中は解体しない」、「農業用倉庫として利用中のため」など。

# 7. 空き家活用方策の方向性

空き家実態調査及び住宅等の利活用調査の結果を踏まえ、空き家活用方策の方向性を以下に整理する。

